



深まるウンブキの謎!?

水中に眠る先史土器

平成30年(2018年)、水中探検家**広部俊明**さんによって、ウンブキにある洞窟の入口から70メートルも奥から土器が発見され、水深は25~30メートルもありました。水中から持ち帰られた土器は壺で、何に使われていたかは分かっていませんが、なんと**下原洞穴遺跡の7,000年以上古い地層から出土した土器と、同じ文様が施されていたのです!** 底は欠けているものの、とても状態が良かったのは、光がほとんど届かないため、付着するような生物が息できなかつたことが一因ようです。いつごろ作られたかを分析するには、土器に蓄積した自然放射線の量を測り時期を推定する、熱ルミネッセンス年代測定法が用いられました。空気中ですと速く多く蓄積し、水中では少ないので、前者の場合では7,400年前、後者では11,700年前ほどさかのぼると推定されました。実は、7,400年前ですと海水面は現在とほとんど同じですが、もし11,700年前ですと35メートルくらい低かったので、土器のある場所はまだ陸上だったのです。ともあれ、どうして洞窟の奥にあったのでしょうか?

泥に埋もれていた部分はほとんど大昔のまま!



見る向きによっては斜めに割れています

黒く変色した部分は海水に浸っていました

下半分にはなぜか文様がありません

底は平らかどうかわかっていません



くしのようなもので施された細かな文様が見られます

ウンブキは何千年も穏やかな水中だったみたいで、これほど原型をとどめている土器は珍しいんだ!

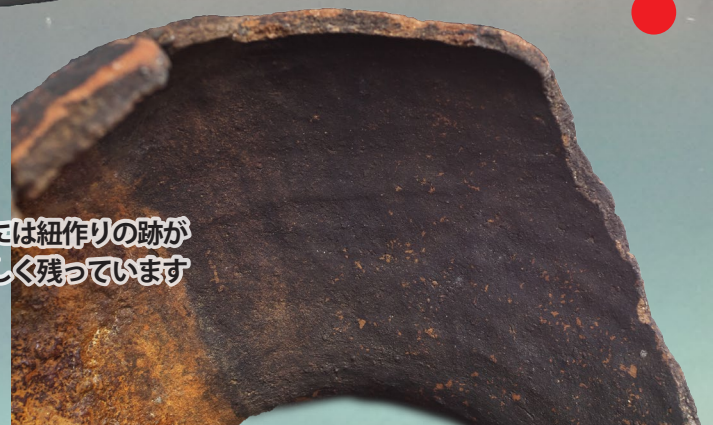


ジグザグ文様は一周で7ヶ所

半分泥に埋もれた状態で発見されました

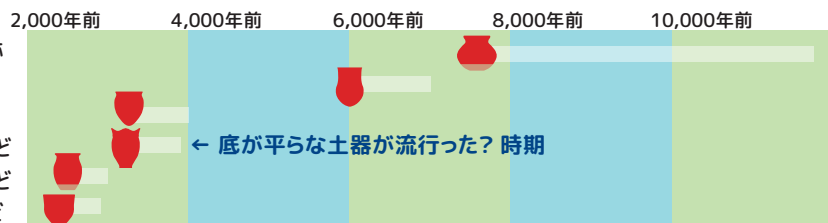


内側には紐作りの跡が生々しく残っています



主な土器の形と年代

- | | |
|---------|---------------|
| ウンブキの土器 | ウンブキ水中鍾乳洞遺跡 |
| 南島爪形文土器 | 下原洞穴遺跡など |
| 面縄前庭式土器 | 面縄第4貝塚など |
| 嘉徳Ⅰ式土器 | 下原遺跡、面縄第2貝塚など |
| 喜念Ⅰ式土器 | 喜治貝塚、犬田布貝塚など |
| 仲原式土器 | 塔原遺跡、中里遺跡など |



もっと情報が見られる電子版はこちら

